



安岡 辰雄さん
(塗装・リフォーム業／DIY名人)



やってみたら大概はできる

2005年の愛知万博。映画『となりのトトロ』の主人公が暮らす家を再現したパビリオン「サツキとメイの家」をニュースで見て、安岡辰雄さんは思った。「ええなあ、欲しいな。作れるのかな?」。

インターネットで調べた写真をもとに、息子と一緒に作ってしまったというから驚きだ。自宅の敷地には、他にもいくつか建物が並ぶ。カントリー調に仕上げた工房、ログハウス風の小屋、ガラス張りのサンルーム。「欲しいけどお金がない。ほんなら自分で作るしかない。見て調べて、真似して。やってみたら大概はできる」と笑う。

もともとは、高知市にあった父親の塗装会社で働いていた。好奇心から、同じ現場の大工や左官に声をかけ、家づくりを学んだという。「作り方から材料から、全部教えてもらう。これやったら自分で家作れるやん、と」。

窪川中津川の親戚の土地を借り、別荘を建てたのが37年前。週末ごとに家族と通い、DIYを楽しむ生活が続いた。20年前、父が会社をたたむのを機に、そこへ居を移した。

引っ越してからは個人で仕事を請け負うように。ペンキを塗り、リフォームをし、家具も作る。たいていのことは「できます」と応じた。

依頼はできるだけリーズナブルな価格で引き受け、丁寧に仕上げる。「期待以上のものを作ったらお客さんが驚いてくれる。それがうれしい」。根底にあるのは、昔ながらの職人気質だった父の言葉。「へごな仕事はすな。後で、化けの皮がはげるぞ」。

窪川地域で続けてきた仕事も、70代半ばに差し掛かり、最近は控えめにしている。「もう終わりにしたいけど。でも頼まれたら、やらないかん」。

来客対応が十分にできないことから、「トトロの家」は一般公開していない。手作りの空間で家族や知人と過ごしながら、ものづくりを楽しむ日々だ。



DIYで作ったログハウス。楽器も手作り



町にはこんな waza も

こども県展で活躍！ 平岡 優寿さん(写真左)、友永 鈴奈さん 窪川小学校6年

第76回こども県展の図画部門で、平岡さんが「こども県展賞」に、友永さんが「推薦」に輝いた。岩本寺を題材に、光と影のコントラストや奥行きを意識して丁寧に仕上げた。「頑張って描いたのでうれしかった」「びっくり」と2人。友永さんは毛筆と硬筆でも特選に選ばれている。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちよいwaza!!は随時募集中!▶



未来の
waza!!



県立四万十高等学校 魅力化通信



【イベント】文化祭開催

11月15日に文化祭を開催しました。

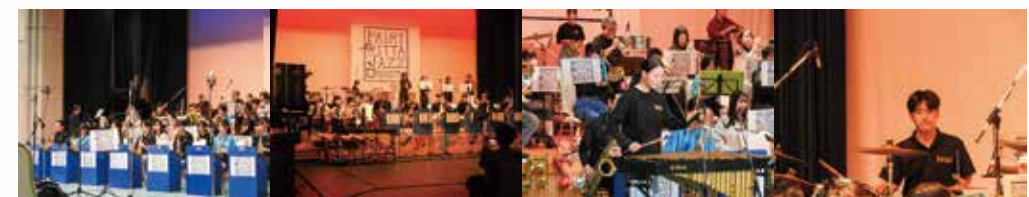
今回の文化祭は、生徒たちのさまざまな工夫や地元の業者様、よさこいチーム四万夢多さんの協力のもと、活気のある文化祭を実施することができました。おかげさまでたくさんの方々にご来場いただきました。ご来場された皆さま、ありがとうございました。



【音楽部】LIVE2025開催

11月23日、四万十高校と大正中学校合同のJAZZオーケストラ Fairy Pitta Jazz Orchestra が、「一音入魂～Enjoy music with audience!」をスローガンに掲げ、きらら大正にて、定期演奏会を行いました。

今回は記念すべき10周年を迎え、ゲストに中村中学校の吹奏楽部や卒業生などが出演し、アンコールが繰り返され、大盛況でした。



【中高一貫】ふるさと学習発表会開催

12月17日に四万十高校にて、大正中学校、十和中学校も参加のもと、ふるさと学習発表会が行われました。

【『今、私たちにできること』～ふるさとのために～】をテーマに、大正中学校は避難所生活を演劇、十和中は活動11年目を迎えた模擬株式会社のぼりんの企業活動、本校は、ふるさと納税の返礼品開発について、発表しました。各校の取り組み内容が分かり、ふるさとへの思いを強めることができました。



【1・2年生】二ホンミツバチの巣箱づくり

12月22日に講師を招き、二ホンミツバチの巣箱を作りました。



【石積甲子園メンバー】四万十町長訪問

12月5日、四万十町長に準優勝の報告をしました。



高知県立四万十高等学校



ホームページ



Instagram

このコーナーでは、県立窪川高校、県立四万十高校、町営塾「じゆうく。」での生徒たちの活動を月替わりで紹介します。